

アイ製作



玉掛ワイヤにおけるアイ部分の役割は重要です。

『 クレーンのフックに玉掛ワイヤを掛ける時 』

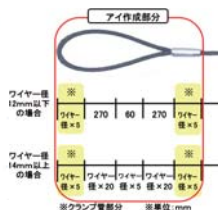
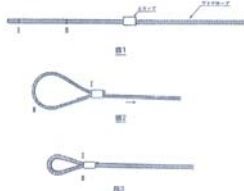
『 吊り荷に玉掛ワイヤを取付ける時 』

・・・等々、他に目通し吊りを行う時など、玉掛け作業においてアイ部分の役割と存在は不可欠です。

また、

『 作業を繰り返す事で負担が特に掛かる部分 』

でもありますので、次の工程で行います「アイ部分のロック加工」と共に、より慎重な作業となります。



アイ製作は、前工程で行った「寸法の計測」によってマーキングされた印を基に、左記図の様にクランプ管を装着していきます。作業は以下の通りとなります。



マーキングに合わせる様に、ワイヤロープにクランプ管を挿入します。



次にワイヤロープの先端をクランプ管に挿入し、輪を作ります。



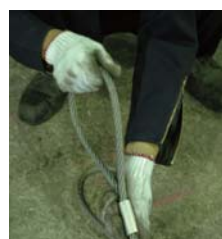
マーキング箇所を確認して、正確に行わなければ、アイの寸法に誤差が生じてしまいますので慎重に!!



この作業を左右両方に行い、1本のワイヤロープにアイが製作されます。

Point

輪を作った時に、少しだけ捻っておきます。この効果は次の「ロック」作業で表れます。



準備完了!!

次は製作したアイをロックして締結する作業です。